

意欲を育てるには？

好きなことばかりしていて大丈夫？

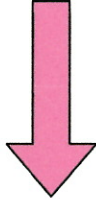
統合ケアハウスリンクス

①自分の好きなことを、自分のペースで、自分が思っているように、大人と一緒に行ってくれることで、自分のことを認めてくれているという信頼感が生まれます。

※認めてもらえていると感じることができると、「〇〇がしたい」という『意思』がでてきます。

↑これが意欲の芽です！

本人の言動の意味を考えて、確認しながら行うことが大切です！
例)「〇〇しようと思ってるのかな？」
気持ちに添っていれば笑顔になります。



本人の気持ちに共感したり、言動を具体的に誉めたりします。
例)「〇〇するところ、よく考えたなあ。難しかったなあ！」

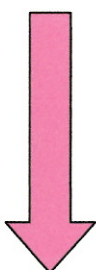
②本人が『したい』と思ったことに、本人の考えを引き出しながら、大人と一緒に試したり、工夫したり、考えを出し合ったりして、本人が納得するまで付き合うと、自信が生まれ、もっとやってみたいと思うようになります。

※最初はできるだけ成功して終了できるようにサポートし、少しずつ失敗しながら考えて乗り越える場面を増やしていくと、あきらめないうで、継続して楽しめるようになります。

↑これが集中力・根気です！

失敗こそ成長する最大のチャンス!!「できる、できない」ではなく、試行錯誤しているところをしっかりほめます!

常に新しい刺激を取り入れることが、興味を持続させることにつながります。



自分でやった!という気持ちが大切なので、ヒントを与えて答えは言わないようにします。

したいと思う活動の中で、このような体験を積み重ねると、挑戦しようとする気持ちやあきらめないう力が育ってきます。

新しい活動や人がしている活動に、興味をもてるように誘います。



少しでも挑戦したことや、できるようになったことを、大げさにほめます。

興味や関心が広がり、いろいろなことに取り組めるようになります!
※いつの間にか苦手なことが苦手ではなくなりますが、そこに到達するまでには時間がかかります。長い目で見てください。